

主な内容

CONTENTS

・岡谷市社会福祉大会開催……………	16
・吉川精一氏講演 「人生いつもありがとう」……………	18
・ふしぎな国の天使……………	21

みんなで築く
みんなの福祉
（あじは）
みんなの未来

岡谷市社会福祉協議会 創立50周年記念大会

平成17年度 岡谷市社会福祉大会 開催



8月27日（土）カノラホールにおいて「みんなで築く みんなの福祉 みんなの未来」をテーマに岡谷市社会福祉大会が開催されました。岡谷市社会福祉協議会は、創立50周年の節目の年を迎え、住民参加型の福祉コミュニティづくりを目指し、福祉活動のより一層の充実、展開を図ります。



岡谷南部中学校3年生の味澤将至さんが前文を朗読、それに続いて参加者全員で市民憲章の唱和を行いました。



市民新聞社提供

中途失聴者・難聴者等耳の不自由な方々への情報保障として、式典の部は手書き、講演会はパソコンによる要約筆記通訳を行いました。

リフレッシュタイムは、トータルヘルスプラン研究所代表の深沢由子先生に、“誰でも踊れるマツケンサンバ!!”を教えてくださいました。会場は軽快なリズムと歌声で大いに盛り上がりました。体も頭もよく動くようになったと好評でした。



発行・編集

岡谷市社会福祉協議会

〒394-0081

岡谷市長地権現町

四丁目11番50号

☎ 24-2121

FAX 24-3555

メールアドレス

okasha@alto.ocn.ne.jp

福祉事業に貢献された個人・団体に表彰状・感謝状

◇社会福祉事業特別功労者

宮坂力夫様 小池邦子様
岡谷市子ども会
育成連絡協議会様



▲市民新聞社提供

◇社会福祉事業協助者

東堀星桜会様

◇優良地区社会福祉協議会

花岡地区社会福祉協議会様
小坂地区社会福祉協議会様

◇褒賞

佐藤敏晴様 笠原剛志様
武井敏男様 宮澤一元様
鮎澤 叶様 矢澤 操様
菅沼士朗様 間 春芳様
伊藤小夜子様 越山五子様
小口 茂様 林 多美様
宮坂芙美子様 池田富雄様

武田芳明様 三島文子様

小松きよ子様 瀧沢俊江様

浜 博芳様 小林照文様

片倉健吾様 鮎澤倉蔵様

山崎正夫様 吉田久人様

横内壽治様 渡辺セツ子様

◇福祉基金感謝状（遺志金）

濱 弘毅様 山岡幹明様

尾崎 孝様 矢崎光貞様

武井國武様 高木雅裕様

林 裕平様 八幡郁男様

橋爪佐一様 清水洋佑様

花岡睦雄様 浦野 功様

小林祐子様 小松一雄様

神戸正幸様 武井政治様

鮎澤要一様

◇福祉基金感謝状（寄付金）

(有)美よう室湖畔様

小池食品(株)様

岡谷市ダンス協会様

日本ルーフ(株)様

岡谷市鳥居平やまびこ公園プリンス

&スカイラインミュージアム様

紫派藤間流藤間微豊華一門

チャリティー舞踊会藤桜会様

東堀星桜会様

上原長雄様

◇岡谷市ボランティア

センター 感謝状（物品）

南信ヤクルト販売株式会社

南信ヤクルト販売店会湖親交会様

◇長野県共同募金会岡谷市

支会長 感謝状（団体）

岡谷市仏教婦人連合会様

宗教法人 真如苑岡谷支部様

ボーイスカウト岡谷第2団様

帝国ピストンリング労働組合

・帝友会様

京セラ(株)長野岡谷工場従業員一同

京セラキンセキ(株)

岡谷事業所従業員一同様

(株)日本ピスコ従業員一同様



◇退職職員感謝状

向山 範子

平成17年度 岡谷市社会福祉大会 実践申し合わせ事項

- 1 市民総参加で「地域福祉活動計画」を推進し、みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりに努めましょう。
- 1 ボランティア意識の高揚を図り、地域の災害防災救援組織作りに参加しましょう。
- 1 家庭、学校、地域等が協働し、思いやりの心を育てる福祉教育を推進しましょう。
- 1 社会全体で地域の子育て支援を推進しましょう。
- 1 共同募金運動に協力し、助け合いの輪を拡げましょう。



演題

『人生いつもありがとう』

「たくさんさんの「ありがとう」に出会いたい」

たくさんさんの「ありがとう」に出会った分だけ

人生幸せになる」

講師：吉川 精一氏

(講演内容抜粋)

「NHKのど自慢、司会の吉川でございます。今週は長野県岡谷市から」の第一声に会場は一気に「のど自慢」が始まるような拍手に包まれました。

○なぜ、NHKのアナウンサーが歌手に？

実は、私は、16才の頃まで本気で歌手志願でした。NHKを定年退局後、16才で断念した少年時代の夢を57歳で実現したのは事実。私の人生の中でよかった、ありがたいと思っております。



私は、歌手、吉川精一になることで、商品価値はわからないが、幅は広がったと思います。歌手になることにより、賞味期限を延ばさせていただいたと、思っています。

一般論ですが、定年後の人生は少年、少女時代に何をめざしていたか、自分が思い描いていた夢をもう一度たどってみて、定年後の自分の人生を構築したらと思います。私のささやかな体験から、少年、少女時代にヒントありと確信しています。

私は、人生には3つの通りがあると思います。

できることなら「思い通り」という通りを歩き続けたいと願うのですが、なかなか難しい。NHKのアナウンサーとしてお世話になりましたが、尾道、福山、：40歳で東京です。その後も様々な番組を担当しました。

「NHKのど自慢」を6年間担当した後、出向を命ぜられ、もう一度仙台へ転勤。決して思い通りではありませんでした。もうしばらく「のど自慢通り」を歩きたいと願いましたが、その願いは叶わない。思いが通らない。

2番目の通りを「思い不通り」と呼んでいます。自分の思い通りではない、むしろこちらのほうが長くて辛い。「思い不通り」のほうが人生かな。行きつ戻りつしながら、歩くことになりました。「それが人生か？」そう思いながら5年間、「のど自慢」に比べると小さな番組を担当。思いが通らない通りを歩くことになりました。余儀なく歩かされていると思いました。断じて、人のせいにすまいと誓いました。

おかげさまで、「思い不通り」を一生懸命笑顔で歩いたおかげで、第3の通り「思いがけない通り」

に出会えたと実感しています。

私にとつての「思いがけない通り」は、カー用品のイエローハットの創業社長、現在、相談役の鍵山秀三郎さんとの出会いです。いくつかのことを教わりました。

そのうちの大きなことは「凡事徹底」。具体的にはトイレの掃除を徹底する。一生懸命トイレと向き合う。これは自分に向かうことです。自分の汚れに気づき、この染みをなんとか落とすことができないか自分と会話をしながら見つめ合うこと。平凡な事を徹底することで、非凡なことに気づかせていただく。これが「凡事徹底」の基本的な哲学です。

しかし、鍵山さんに出会い、「凡事徹底」を教わり、「その時の出会いが人生を根底から変えてくれる」という言葉に出会いながらも、心の底からはそれを理解できないでいました。

NHK定年時、不遜だったつもりはありませんが、「何かお仕事があったらください。ラジオでもいいです」と、無礼なことを申ししまいました。人が動くはずありません。とんでもない傲慢でした。人にものを頼む時は土下座をする思いで、「何かお力をいただけたら幸いです」と心をこめてお願いすることにより、人の心が動くのです。

現役時代は、「小さい仕事こそ一生懸命」と考えていました。しかしこれは違いました。自分の仕事を大きい小さいと区分けをしている間は本物ではありません。

相田みつをさんの言葉で「今ここ」というのは、大きい小さいは関係なく、今を一生懸命生きさせていただくということ。小さい仕事だからこそ、というのは逃げだな、そんなことを学びました。

○「のど自慢」の司会者時代に出会った

「ありがとう」

山梨県春日居町、人口5千人の小さな町の体育館は3千人のお客さんでいっぱい。20番目に登場したSさんは、予選もリハーサルもお上手で、合格候補でした。町民もスタッフも、この辺りで合格が欲しいと思っていました。Sさんが登場して、私からマイクを受け取り、「20番、秋桜^{コスモス}」と言って、目をきよきよとさせました。私には緊張しているようにしか見えませんでした。上手だとわかっています。上手い方ほど緊張するので、そうでない方は緊張しません。伴奏が始まり、歌が始まりました。

山口百恵さんの歌です。

♪明日嫁ぐ私に苦勞はしても

笑い話に時がかえるよ

心配いらないと笑った♪

残念ながらここで鐘が2つ鳴りました。Sさんは本当に残念そうでした。登場した人は、みんな自分は合格すると思っています。がっかりした表情をみなさんするが、Sさんはとりわけがっかりしていません。私はやむを得ない、と思いました。「Sさん、残念でしたね」と声をかけました。Sさんは言葉なく、残念そうにうなずきました。「Sさん、ごなたのために歌いでしたか？」一瞬の後、「お母さん」とポツンと答えました。この『秋桜』は、娘さんからのお母さんに対する歌だと承知しているが、お母さんという言葉に、家族が思い浮かんでいるのかな？と、違和感が残りました。生放送。せいぜい、一人1分20秒。待つことは、勇気がいります。インタビューは番組自体の仕上りに影響します。インタビューは言葉だけではありません。目のインタビ

ュー、仕草のインタビュー。失礼にならない程度に肩に手をかけたり、待つインタビューもあります。私は、待ちました。Sさんは言いました。「来週の日曜日、結婚して名古屋に行くんです」「それは、おめでとうございます」それでもなお、違和感が残りました。Sさんは「実は、私が生まれてすぐに父は他界してしまつた。死んでしまつたのです」そうおっしゃいました。だから、言外に込められた意味は、来週嫁いでいく私を、お母さんが、間違いない、女手ひとつで苦勞を重ねて育ててくださったに違いない。だから、嫁ぐ娘として、お母さんのために『秋桜』を歌つたのです。Sさんの心理やお母さんとの家の歴史が見えてきます。

体育館の前の席に涙をハンカチでぬぐうお母さんの姿が見えました。「お母さんですね」と呼びかけました。お母さんはうなずきながら、さらに泣きじやくりました。Sさんはこらえきれず、大きな瞳から、大粒の涙をこぼしました。私も胸がつまる思いがしました。

3千人のお客様からも、あちらこちらから、すすり泣き、もらい泣き、忍び泣きが聞こえ、嗚咽をこらえようとするざわめきが、ステージ上まで聞こえてきました。しかし、私はもう一つだけ、お願いしたかった。「Sさん、今ここでお母さんに、『ありがとう』って言うてみようか」と、促しました。Sさんは大きくうなずきました。反比例するように声はか細く、しかし、お母様をしっかりと見据えながら「おかあさん、ありがとう」とおっしゃいました。一瞬ののち、万雷の拍手が。

「ありがとう」には力がある、良い「ありがとう」に出会えた、と実感しました。

岡谷のみなさんを前に「ありがとう」の話をさせていただきました。同じ時の流れの中で、みなさん方の多くは、感慨を共有してくださっています。10年以上前の「のど自慢」時代の「ありがとう」に耳を傾け、ある方は感動を共感し、目頭を押さえてくださいました。なぜでしょう。

私はこう考えます。お若い方はお若いなりに、お年を召した方はお年を召したなりに、今までの人生の中で、心から「お母さん」と、大きな声であつたか、小さな声であつたか、声にならない心の中で、すがるような思いで、手を合わせ、名を呼んだ日があつたに違いない、私はそう確信します。

みなさん方は私の話に耳を傾け、目をこちらに向けてくださっていますが、今、この瞬間、みなさん方が出会っているのは、間違いなく、お元氣であるのか、ご他界されたか、かけがえのない、みなさんを愛し心配している父母の姿であり、なつかしい、おじいちゃん、おばあちゃんの姿や笑顔に違いありません。みなさんのお顔を拝見し、私もなつかしい、逝つた母のこと、父のことを思い起こさせていただいています。感動してくださっているのであれば、感動の源流はみなさんお一人おひとりにあり、感激の原点は心の中にあるのです。

改めて、かけがえのない人生を感謝とともに、しっかりと生きさせていただくことが大事と確信し、確認させていただきました。

再び、Sさんの話に戻ります。「明日嫁ぐ私に……」というところで、鐘が2つ鳴つたと言いましたが、本当は、この後の歌詞に託された娘としての思いを、苦勞したお母さんに向かって歌いたかったのかと思えてなりません。

♪「ありがとう」の言葉をかみしめながら

生きてみます 私なりに

こんな小春日和の穏やかな日はもう少し

あなたの子供でいさせてください♪

最後まで歌いきることはできませんでしたが、自分の町に「のど自慢」がやってきて、つたないインタビューに一生懸命答えながら、「お母さん、ありがとう」とおっしゃったことで、来週嫁ぐ娘から、苦勞を重ねた母への「ありがとう」は完結したと思います。

○小石を宝石に変えていくこと

「人生これから」という番組で、海卓子先生に出会いました。収録が終わり、おばあちゃま先生が、手のひらを開けると石コロが載っていました。「先生、石コロではないですか」と言ったら、「私にとっては宝石」と。「どうして、石は石でしょう」と言って、さらに無礼を重ねると、先生は前々日、自転車に乗ることのできない園児の練習に一生懸命付き合った。どうにか乗れるようになったお嬢ちゃん、誰より早く来て、「先生ありがとう。お礼」と言って、載せてくれた。「だから、これが宝石、宝物」と。

一目見てわかる小石を「ありがとう」と握りしめた時、宝石は宝石としての輝きをますます増していたのかな。私たちは、うっかりすると、本物の宝石に出会いながら、どうせ小石のようだと見逃していないでしょうか。小石のようにしか見えない言葉や人との出会いなど、「これ、宝石ね」と気付くことが、小石を宝石に変えていくことかもしれません。心からの「ありがとう」の言葉こそ、小石を宝石

に変えてくれるのです。

せんせい
ありがとう。
これあげる。

まあ、ステキ！
大事にするわ。
ありがとう。



講演では、アナウンサー時代の失敗談もあり、まさに、涙と笑いの90分になりました。「お母さん」「ありがとう」の言葉に込められたさまざまな思い、意味について改めて考えさせられました。「わく、精ちゃん」という掛け声とともにピンクの衣装に着替えた歌手、吉川精一登場。『あいたや津軽』『うたかたの宿』の2曲を歌っていただきました。



岡谷市高齢者クラブ連合会 創立50周年記念大会

「健康・友愛・奉仕」

- ◆期日 10月20日(木)
- ◆時間 午後1時 記念式典
- ◆場所 カノラホール(大ホール)
- ◆主催 岡谷市高齢者クラブ連合会
- ◆共催 岡谷市・岡谷市社会福祉協議会
- ◆後援 岡谷市区長会

☆午後1時30分よりアトラクション

◇「落語」三遊亭 楽之介

◇「講談」神田 織音



みなさん大勢の
ご来場をお待ちしています

問合せ 岡谷市高齢者クラブ連合会事務局(岡谷市社会福祉協議会内) ☎24-2121